”こんなに便利”スタイルフェンス施工治具、と各種施工の裏技をご紹介します！

スタイルフェンス施工治具を有効に使用したスタイルフェンスの施工方法を中心にご説明します。
60角/40角のアルミ支柱での施工治具の使い分け、ちょっと便利な裏技も3つご紹介します。

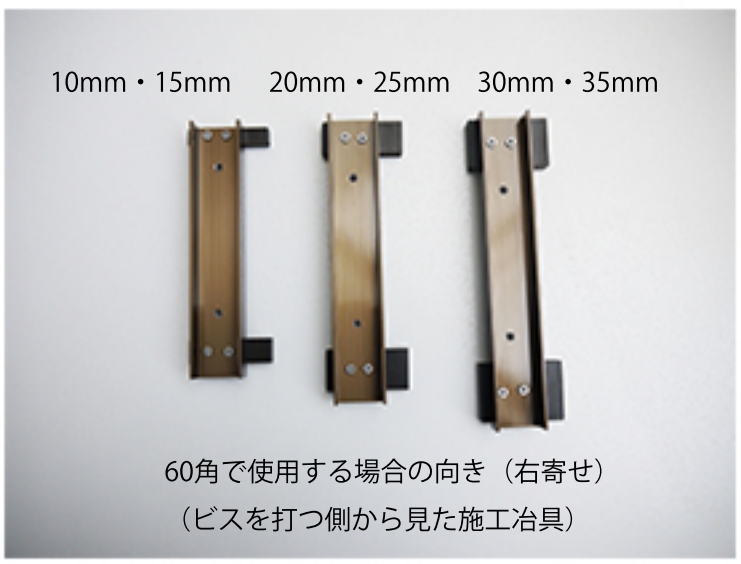
はじめに

1、スタイルフェンス施工治具の利便性

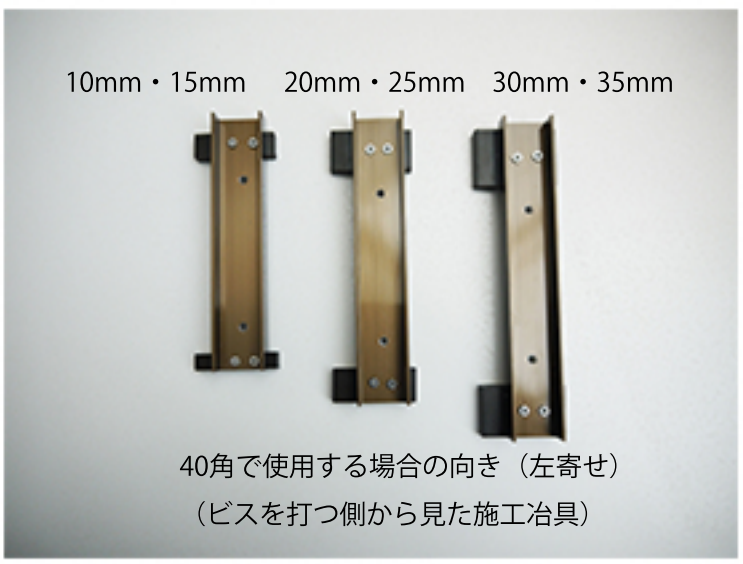
ビスで板材を固定する柱材において、板材と柱材に下穴を開けるために使用する治具です。※ジョイント部分は冶具の使用対象になりません。（上下間隔が均等に、かつ支柱の中心に下穴を綺麗に開けることができます。）

2、スペーサの種類（通常ストック商品は下記の3種類）

上下にスペーサが装着されています。①10mmと15mmタイプ②20mmと25mmタイプ③30mmと35mmタイプ



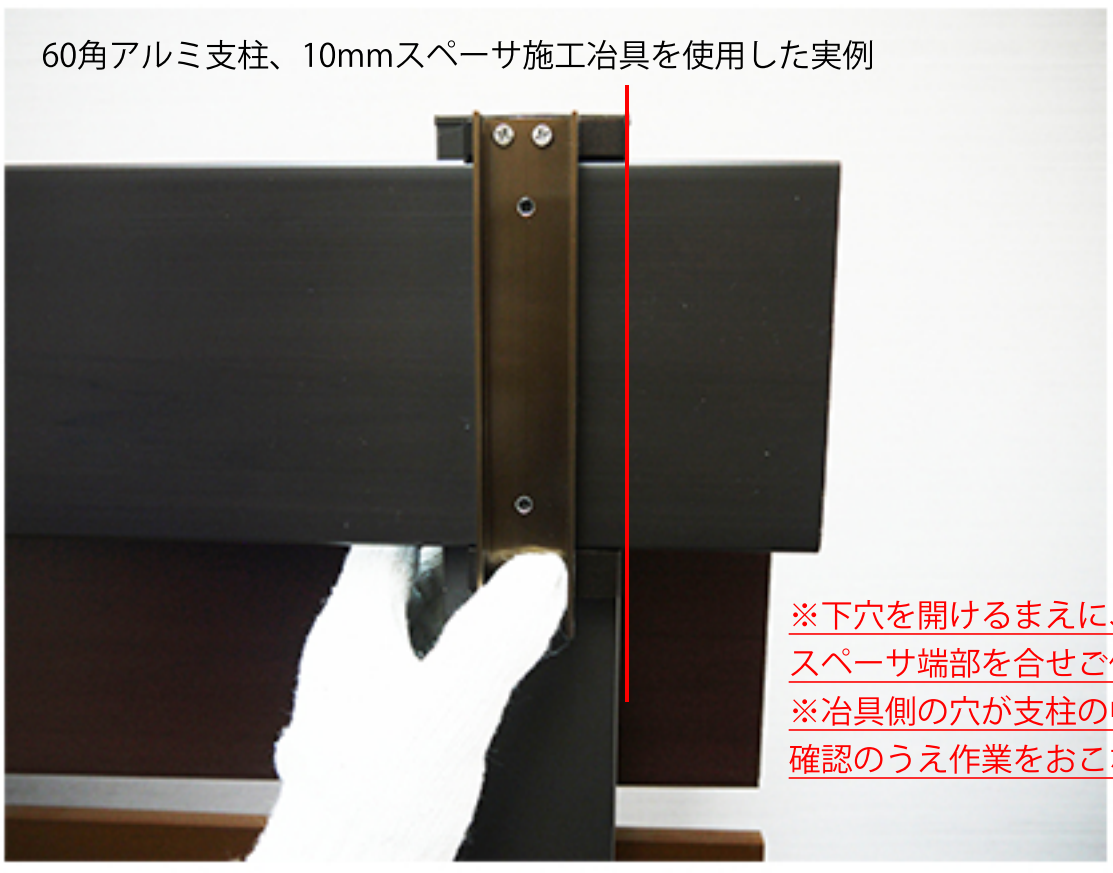
60角で使用する場合の向き（右寄せ）
（ビスを打つ側から見た施工治具）



40角で使用する場合の向き（左寄せ）
（ビスを打つ側から見た施工治具）

3、この施工治具の特徴

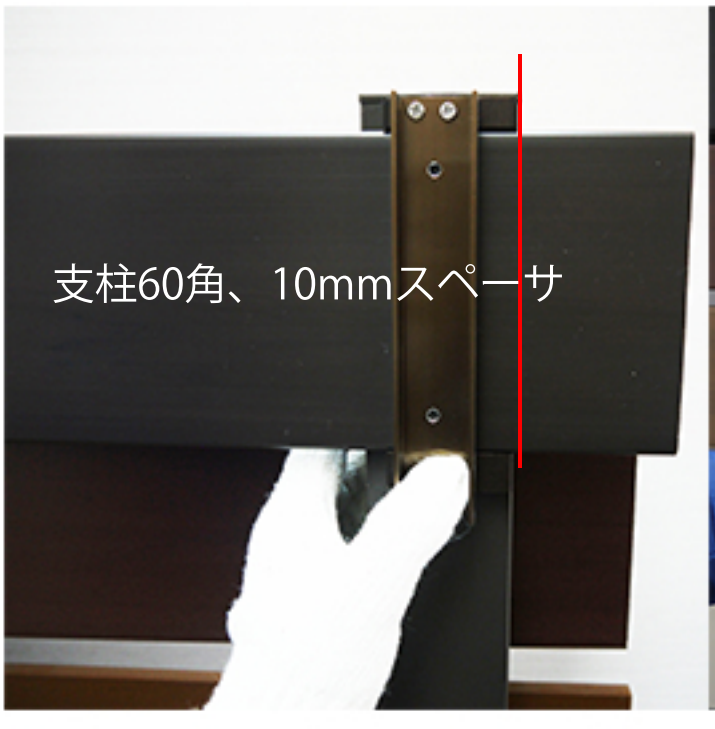
この施工治具の便利なところは、わざとスペーサの左右のはみだしを設定しています。
施工治具に取付けてあるスペーサの端部支柱の端にしっかりと合わせることで、下穴を開けるための穴が支柱の中心にくるよう考慮されています。
また、施工治具を左右にずらして使用することにより、60角と40角でも共通に利用できるようにも考慮されています、60角の場合は柱右端合せ、40角の場合は左端合せとなります。



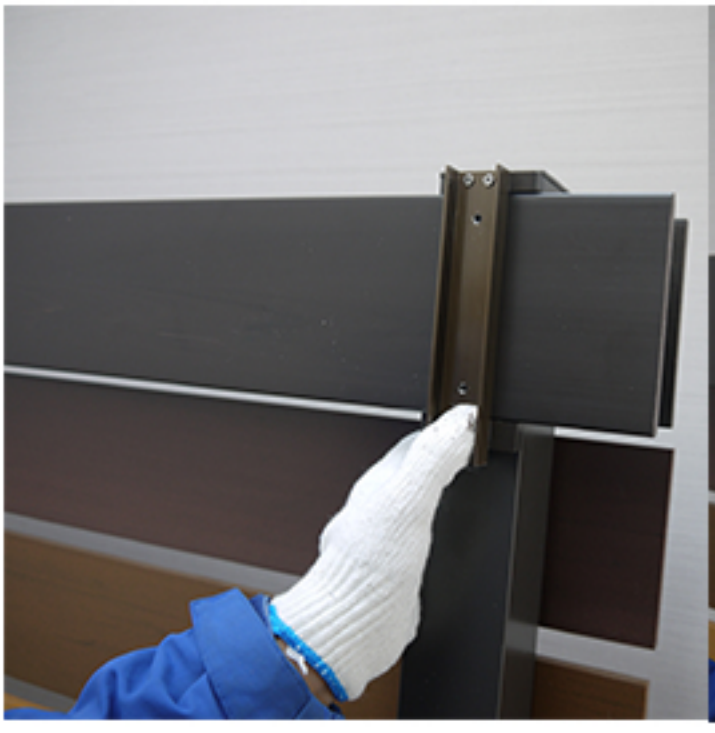
※下穴を開けるまえに、しっかり柱端部とスペーサ端部を合せご使用ください。
※冶具側の穴が支柱の中央にあることを目視で確認のうえ作業をおこなってください。

実際の施工冶具を使用した作業方法１

1、まず施工冶具のスペーサ端部をしっかりと支柱端部と合わせ、
穴が支柱の中央にくることを確認してください。
（※60角と40角では冶具のセッテイング位置が異なります。）



2、次に施工冶具の下部をしっかり押さえながら、インパクトのキリビット
を使用し下穴を2箇所開けます。



※樹脂材とアルミ材は比較的加工がしやすい素材です。

実際の施工冶具を使用した作業方法２

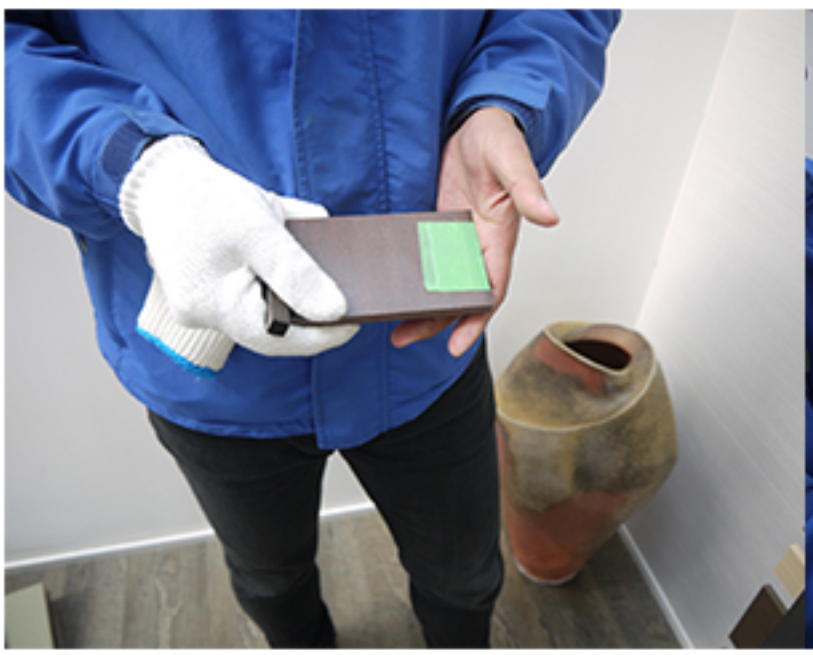
3、綺麗な下穴が板材とアルミ支柱に開きましたので、次にステンビスで板材とアルミ支柱をインパクトドライバーを使用し固定します。

※下穴サイズは使用する使用するビスサイズより-1mm程度小さく加工することを推奨しております。

ちょっと便利な裏技をご紹介編１

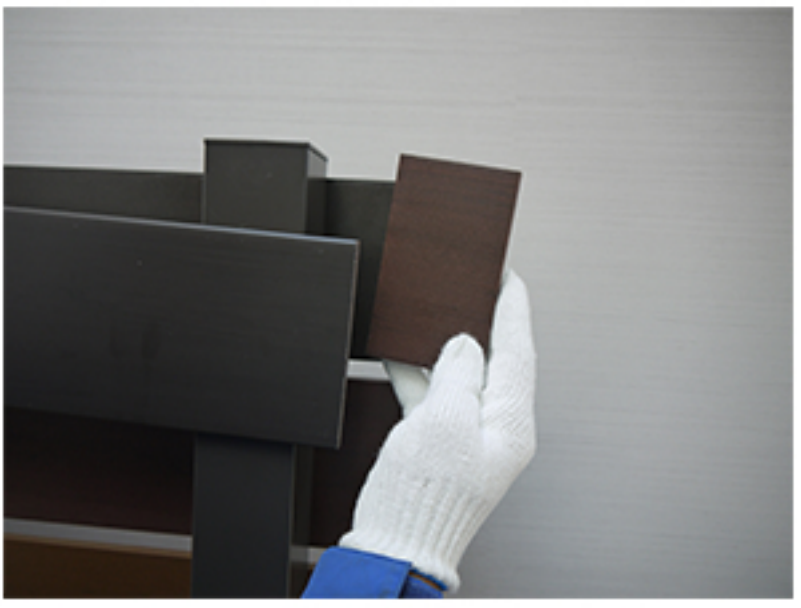
1、ジョイント材にて板を固定する支柱に対して、スペーサの取付けの際の便利な裏技

板材（この場合は120mm幅）に2枚程度の養生テープを貼付けると
テープのわずかな隙間がクリアランスとなり、本番板材の施工がしやすくなります。



2、支柱から板の張り出し寸法を調整する際の裏技

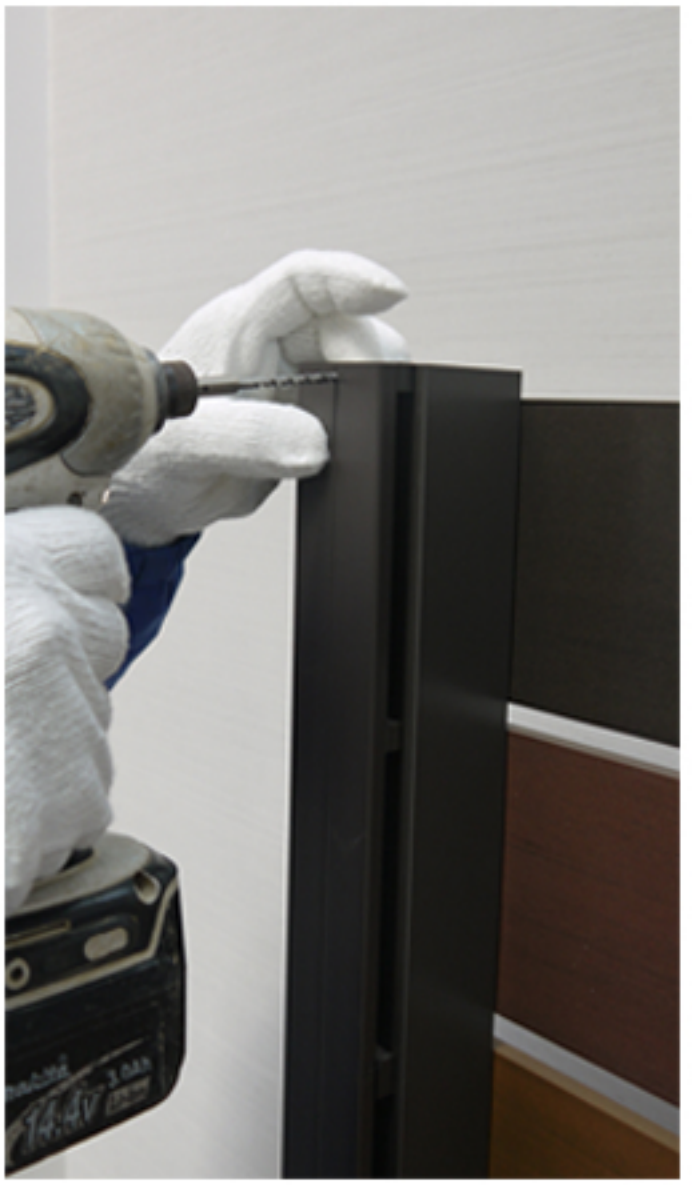
下記の写真にありますように張り出す寸法にカットした板材を柱の側面にあてて
右側から押さえながら施工すると、張り出し寸法が上手く固定・調整ができます。



ちょっと便利な裏技をご紹介編 2

3、支柱最上段へのスペーサの取付けする際の裏技

支柱キャップを取り外した状態で支柱のてっぺんに板材を載せてから、スペーサを取付けするとずれなく綺麗に収まります。



きれいに施工ができました。スタイルフェンスの完成です！
目隠しフェンスして境界線として、お客様のお好きなカラーでご自宅をさらに
スタイリッシュにしてみませんか！！
施工方法の詳細マニュアルにつきましては、当店WEBサイトからもダウロードいただけます。
（板材などセットでご購入の場合には商品にも説明書が貼付しています）

東京ガーデニングスタイル